

2009年ソロ競技:ラテン課題フィガーについて

2009年8月 Rev. 1.3
社団法人日本ダンススポーツ連盟

サンバ課題フィガー

<アンダーラインのあるフットワークは重視しない>

課題No.	課題フィガー	男子カウント (女子)	フットワーク	特記事項
1	ウィスク・トゥー・レフト(第1~3歩)~	1a2	男子女子:BF,T,BF	<6小節> 技術認定 ハイグレード コース2
	ナチュラル・ロール(第1~6歩)~	SQQ SQQ	男子: <u>HF</u> ,BF,BF,BF,BF,BF 女子:BF,BF,BF, <u>HF</u> ,BF,BF	
	プロムナード・アンド・カウンター・プロムナード・ラン(第1~9歩)	123 123 123	男子女子:B,BF,BF,B,BF,BF,B,BF,BF	
2	サンバ・ウォーク・LF・イン・PP(第1~3歩)~	1a2	男子女子:BF,TのIE,F	<5小節> 技術認定 ハイグレード コース2
	サイド・サンバ・ウォーク(第1~3歩)~	1a2	男子女子:BF,TのIE,F	
	クリス・クロス・ボタ・フォゴ(第1~第6歩)~	1a2 1a2	男子女子:BF,TのIE,BF,BF,TのIE,BF	
	ステーションナリィ・サンバ・ウォーク・LF(女子スポット・ボルタ)(第1~3歩)~	1a2	男子:BF,TのIE,F 女子:BF,T,BF	
3	サンバ・ウォーク・RF・イン・PP(第1~3歩)~	1a2	男子女子:BF,TのIE,F	<4小節> 技術認定 ハイグレード コース2
	ローリング・オフ・ジ・アーム(第1~6歩+第1~3歩)	123 123 123 or 1a2 1a2 1a2 (QQQQ QQQQ QQQQ)	男子:BF,T,BF,BF,T,BF, BF,T,BF 女子:BF, <u>B</u> 次いで右足Bで回転,B(左足BのIE),BF, <u>B</u> 次いで左足Bで回転,B(右足BのIE),BF, <u>B</u> 次いで右足Bで回転,B(左足BのIE),	

パソドブレ課題フィガー

<アンダーラインのあるフットワークは重視しない>

課題No.	課題フィガー	男子カウント (女子)	フットワーク	特記事項
1	フォーラウェイ・リバース(第1~8歩)~ (※ISTDIによる表記:フォーラウエー・リバース・ターン・ウイズ・オープン・テレマーク・エンディング)	1 2 1 2 1 2 1 2	男子:BF,HF,BF,BF,BFB,HF,B,BF 女子:BF,BF,BF, <u>BE</u> ,BF,BF,HF,BF	<6小節>
	プロムナード・クローズ(第1~4歩) (※ISTDIによる表記:プロムナード・クローズ~シャッセ・ツー・ライトの1,2歩)	1 2 1 2	男子:HF,BF,B,B 女子:HF, <u>BE</u> , B,B	
2	トウイスツ(第1~15歩)~	1 2 1 2 QQSSQQSSQQS	男子:BF,HF,HF,BF, <u>I</u> , 左足BF右足TB, HF,BF, <u>I</u> , 左足BF右足TB, HF,BF, <u>I</u> , 左足BF右足TB, BF 女子:BF,HF,HF,HF, <u>I</u> , <u>I</u> , <u>BE</u> , <u>BE</u> , <u>I</u> , <u>I</u> , <u>BE</u> , <u>BE</u> , <u>I</u> , <u>I</u> , BF	<6小節>
3	レフト・フット・バリエーション(第1~9歩)	1 2 1 2a 1 2 1 2	男子:HF,HF,BF,TのO/E,BF,TのI/E,BF,B,B 女子: <u>IE</u> , <u>IE</u> , <u>BE</u> , <u>I</u> , BF,TのI/E,BF,B,B	<4小節>

- 課題フィガーの詳細は「標準アマルガメーション[2](技術認定ハイグレードコース)ビデオ サンバ編」(ハイグレード2)、「JDSFダンススポーツ教程」のテキスト/ビデオ等を参考にしてください。
- 演技方法は上記の表(注を含む)の規定に従うものとし、フットポジション、男女の位置、ホールドなどフィガーの本質的特長を崩さない範囲であれば、演技方法はテキストと一致していなくてもより効果的と解釈されれば認められます。
- カウント標記:効果的であれば強調や変更は自由ですが、課題フィガー・グループ(課題No.単位)の小節数は厳守してください。
- ソロ競技の演技は、サンバはイントロ後の48小節(2/4拍子として)、パソドブレは第2ハイライトまでとします。
- 新審判基準では、曲がかかっている間を演技時間とし、踊る必要のないイントロ部分であってもプレゼンテーション等の評価対象となり、バランスを崩す等の欠点があれば減点の対象となります。
- 一つの課題フィガー・グループ内では、フィガー順番を変えたり、記載以外のフィガーを入れたりすることはできません。
- 上記のサンプルアマルガメーションは、課題1→2→3の順とします。
- 新審判基準ではコリオグラフィーも評価対象になります。課題フィガー・グループ単位の演技順や繋ぎ方は自由であり、繋ぎとして任意のベーシック・フィガーやバリエーションを入れることができます。その課題を含むコリオグラフィーが特に効果的と認められれば新審判基準では加点されます。
- 「課題フィガー演技申請用紙(選手用)」La課題フィガー演技申請用紙より、課題フィガー・グループの演技順と繋ぎの小節数を、主催者の指示する時間までに各自提出してください。(同じ課題フィガー・グループを複数回使用した場合でも1回のみ記入)
申請の際、小節数の記載はサンバ、パソドブレとも2/4拍子としてしてください。
- 当日の演技が申請用紙の予定フィガーと異なった場合、新審判基準では減点される場合があります。
- 新審判基準では、課題フィガーに指定された同一フィガーが複数回使われた場合、申請用紙にて特定されたフィガーのみ課題評価対象となります。

<2009年6月までの競技審判は従来型の審判基準で行われ、新審判基準(内部評価用)によって影響されません>
<2009年7月以降のグランプリ競技会は、原則として新審判基準が採用されますのでシラバスに注意してください>